



No.142 (令和4年11月1日)

お も な 内 容

	ページ
随 想	1
研修講座寸描	2～5
出前講座寸描	5・6
心に残る授業 その⑧	7
I C T実技研修講座の紹介	7
研究室だより	8・9
教育講演会のお知らせ	9
各種お知らせ (iPad 貸出・Webサイト・資料室)	10

本校は、上川管内教育実践サポーター事業の推進校として、道徳科を中心に研究を進めています。主体的、対話的な学びを通して、他者と対話したり、協働したりしながら、様々な視点から物事を多面的・多角的に理解できるように努めています。子どもたちの考えを共有できるツールとして、I C Tを活用しています。

(名寄市立名寄中学校)

随 想

「クラス合唱の不易と流行」

上川教育研修センター

副所長 林 欽一



教員人生を振り返った時、音楽教師をしていた私は、秋の学校祭で取り組んだ「クラス合唱」のことが追想されます。

私が授業をしていた頃は、まだまだI C Tの導入のない時代で、ビデオやラジカセ、鏡が教材・教具として活躍していました。「模範合唱の優れている点

は？」「クラス合唱の成果や課題はどこにある？」と、多彩で多才な子どもたちが耳を凝らして合唱を聴いている様子が懐かしく、脳裏に焼き付いています。

学校祭の数週間前になると、これまでの学びや経験、そして豊かな感性をフルに働かせながら、指揮者やパートリーダーが中心となり智慧を集め、反省会では、熱く語り合っていたこともありました。担任の先生方は、子どもたちの思いを大切に、解決方法の相談役に徹してくれました。

発表当日、充実感に満ちあふれた表情でステージから降りてくる姿、結果が発表され、大きな歓声が沸き起こるとともに涙を流す姿を見て、子どもたちの曇りのない心が動かされた教育効果の高い学級活動であったことが実感されました。

尊敬する作詞・作曲家である松井孝夫先生は、「合唱は、一人ではできません。多くの人が集まって歌うことで、ハー

モニーが生まれ、感動を呼び起こします。そして一緒に歌うと心を通わせることができます。主体的な力、協働的な力、そして創造的な力を、一人一人に応じて高めることができます。」と話されていました。

現在、「Social50時代」にふさわしい学校の実現が求められています。

私の頃は、昔ながらの教材・教具を活用し、表情や口形のチェック、そして歌詞と表現の関わりに智慧を集める等、学級がチームとなり協働的に学び合っていました。しかし、今ならI C Tを有効に活用し、課題をその場で確認したり、意見交流や変容の確認をする等、より工夫しながら課題解決を目指したことでしょ

う。「クラス合唱」は、好奇心が高まり、目標が明確、そして指導と評価が有効に働いた時、達成感や充実感が味わえ、大きな成長へと繋がるように思います。

「Social50時代」が目の前に来ています。チームとして学び合って身に付けたI C T活用力、思考力・判断力・表現力、そして磨き合った豊かな感性を有効に活用し、未来に向かって力強く生き抜き、「クラス合唱」も大きく飛躍していくことを願っています。

七月一日に四年生を対象として水防学習を実施しました。北海道開発局や旭川開発建設部、旭川事務所の方々が神居小に水害の疑似体験ができる装置を設置してくださり、降雨体験と流水体験をさせていただきました。特に降雨体験では、一時間当たり約二五mmの雨に打たれ、自然の猛威を感じ取ることができました。さらに、避難の仕方について学習し、災害を想定して日頃から必要な備えをするなど、自分たちができることを考えたり選択・判断したりすることの大切さを学びました。

(旭川市立神居小学校)



センター日誌

- 7月5日 夏季拡大研究会
- 7月22日 センター組合教育委員会
- 7月26日 研究室夏季集中研
- 8月10日 センター組合会議
- 10月28日 道研連研究発表大会(オンライン開催)
- 11月1日 センターだより第142号発行
- ※ 毎週火曜日 定例研究室会議
- ※ 随時 研修講座講師打合せ会議

1 読書活動 6/6(月)

佐藤 聖士 (緑新小 校長)
細貝 充弘 (旭川第3小 教諭)

講師 II

・講義では、読書活動は、学校内のどこでも行われるべきであり、子供だけでなく教職員、保護者へと広がるのが望ましいと気付きました。その中心が学校図書館であり、司書と司書教諭・全職員の連携も重要だと考えました。幅広い知識と分野で、より深みのある図書館にしていきたいです。

・実際に木をつくって、そこに子どもたちの考えを貼っていて、子どもたちの思考が目に見えて分かって、良いと感じました。



受講者の感想から

研修講座寸描

2 学校経営 I 6/9(木)



・佐藤指導監の講話で、これからの学校経営のあり方について、多くの観点からお話をいただき、大変参考になりました。特に検証改善サイクルについて、意思決定をスピーディーに行う事の重要性を私自身も同様に感じており、今後「AAR」サイクルを取り入れた学校経営を目指したいと思っています。

・様々な学校の経営マネジメント、危機管理等の取組や対応、考え方を知る機会となり、今後の学校経営に向け、大変参考になることばかりでした。

佐藤 忍 (上川教育局指導監)
大垣 八仁 (鷹栖中 校長)
大垣 秀彦 (千代田小 校長)
中山 洋 (東明中 校長)
鈴木 伸行 (上富良野小 校長)

講師 II

3 特別支援教育 6/14(火)・7/12(火)

後藤 博美 (忠和小 教諭)
間野 修平 (六合中 教諭)

講師 II

・障がいの子の特性とそれに対する具体的なアプローチの方法についての理解を深めることができました。演習ではそれぞれの抱えている課題を交流し、方策について協議して明日からの指導につなげることができそうです。

・ADHD他のVR動画によって、子どもたちが見ている視点を知ることができました。



4 学級経営と教育相談 6/16(木)

五十嵐 敬 (旭川市教育委員会 指導主事)

講師 II

・学級経営の上で「学校は楽しい」と思ってもらえるような居場所づくりをまず築くことが大切であり、また、その後の規律の部分を守らせることが大切だと学びました。

・学級経営において大切なことは、年度終わりの姿を明確にもつことだと改めて感じました。中学校の学級経営についても知ることでできたので、今の目標がより明確化しました。

・自分の考えを表に出すことができるようになるためには先生が手順を示すことが大切だと学びました。

・他の学校の先生方がどんなことを意識して学級経営を行っているかを聞けてとても良かったです。もっと勉強して経営をしていきたいです。

5 複式教育 7/5 (火)

玉置ゆり子
〔上川教育局
指導主事〕
二講師
大道 桜桃
〔近文第2小
教諭〕

・複式の授業をどのように作り上げていくのか各校の先生方の考えが聞けて大変参考になりました。大道先生の授業ではキーワードになる短冊や前時までの学習の流れがわかる掲示がとても良かったです。自分でも取り入れてみようと思います。

・リーダー学習の進め方や先生の方の学習の様子など実際に見せていただくことができた大変学習になりました。



6 図工・美術家科指導 7/14 (木)

西岡 裕英
〔附属旭川中副校長〕
桑村美由紀
〔東陽中 教諭〕
二講師

生徒への分かりやすい制作手順の説明方法や、ICTをどのような場面で使用するのかわからない。学校の先生方が、どのような場面でも、どのようにICTを活用しているのかを交流することができ、自校での授業でも積極的に使っていこうと思いました。



7 学校力向上対策 7/26 (火)

木下 俊吾
〔北海道教育大学
教職大学院特任教授〕
二講師

・学校力向上に関して、演習や交流を通して先生方の取組をうかがうことができて有意義な時間が過ごせました。ICTに関する新たな意識改革など、自校に持ち帰って情報を還元したいと思っています。

・学校力向上のために先生方の組織力を高め、チームとしてつなげていく役割になれるように努めていきたいと思っています。



8 幼保小連携教育 7/27 (水)

片桐 正敏
〔北海道教育大学
旭川校 教授〕
千葉 香織
〔剣淵小 教諭〕
二講師

・幼保からの引き継ぎとしてTASPの活用はとても有効なツールだと感じました。「ギフトテッド」「2E」等も詳しく知ることができ、実りある研修でした。

・「ギフトテッド」について理解を深めることができました。無理のない連携、持続可能な連携を考えてみたいですね。

・他保育園の取組や小学校側の思いなどを聞いて良かったです。要録に何を書こうか、小学校へどんなことを引き継ごうかを考える機会になりました。



10 国語科指導 7/29 (金)・8/31 (水)

川島 一毅 (緑新小 教諭)
永森 篤 (中央中 教諭)

講師 II

渥美 伸彦 (北海道教育大学 准教授)

渥美先生のお話にあった、昨今の「話すこと・聞くこと」の捉え方について、特に参考になりました。具体的には、音声言語を単に「言葉のやりとり」とするのではなく、「対人的な関係や行為」と位置付けるという点です。ともすれば、言語技術を発揮する場として話すこと・聞くことを捉えがちであったため、大変勉強になりました。

・音声言語ならではの性質、それを生かして授業を組み立てて、パッケージ化した時に、如何にリアリティのある学習活動になっているのかどうかを見極めることの大切さを学ぶことができました。



11 学校事務実務 9/1 (木)

講師 II

吉岡 和憲 (公立学校共済組合北海道支部 経理出納係長)
下保 輝琉 (永山小 事務職員)
佐藤 佑樹 (富良野樹海 事務職員)
原 友亮 (富良野樹海 事務職員)
盛多 隆 (比布中央 事務職員)

・共済の標準報酬制について学ぶことができたので、今後の給与事務を行っていく際に慎重に給料明細書を確認しようと考えました。

・自分が所属する市町村以外の現状を知ることが出来て、とても勉強になりました。原則一校一名配置であり、コロナ禍もあり他の事務職員と交流する機会も減っている中、開催いただきありがとうございました。

16 学校・家庭・地域の連携 8/30 (火)

山下 真悟 (東神楽町教育委員会 教育推進課 主査)
加藤 孝 (東神楽町教育委員会 生涯学習コーディネーター)
久保田正樹 (東神楽東聖小 主幹教諭)
白形賢太郎 (上川教育局 社会教育指導班 主査)

講師 II

・諸地域によって本当に実態が異なるのだなと感じました。地域に活かせるものは活かせるように教育活動を進めていきたいです。

・教育の現場ではまだまだコミュニケーションのスキルが浸透していない学校もあります。他校の活動報告を参考に「無理せず・できることから・続けられる」体制づくりを目指して、学校、CS委員、地域と連携をとりたいなと思いました。



17 音楽科指導 (実技) 9/1 (木)

講師 II

小山和歌子 (旭川市教育委員会 指導主事)
上野 洋子 (千代田小 教諭)

・入学して間もない一年生が、楽曲をよく聴きながら、四つの場面について自分なりに想像している姿が、大変素晴らしい。本時のような手立てを参考にしながら授業実践に努めたいと思いました。

・授業を見せていただいた千代田小学校の上野先生、指導と評価の一体化について丁寧に教えていただいた小山指導主事に厚くお礼を申し上げます。一番参考になったことは、「全てを肯定する」または「全てを許容する」ことが音楽の授業で一番大切なことであると教わったことです。ありがとうございました。



18 ICT活用 9/2(金)

橋本 崇(嵐山中)
奥山 直樹(愛別小)

講師

教頭
(教諭)

・研究授業参観により、授業の中でのICT活用のヒントをいただくことができました。また、午後からの講義や実技研修を通して、まずは失敗を恐れずに使う機会を意図的に作っていくことや、それを学校全体で取り組んでいくことの大切さを学び、感じました。

・ICT実践も参観でき、悩みも交流でき、とても参考になりました。また、教師側のICT活用も学べたので、すぐに実践につながる講座内容でした。



19 学校保健 9/8(木)

池田 暁

講師

旭川市教育委員会
指導主事

・今まで健康観察は感染対策の業務としてしか捉えられていましてした。講師の先生からのお話の中で健康観察が行われるようになってから、子どもの様子が落ちついてきている、健康観察のひと作業が愛情として伝わっているという事を聞き、すごく温かい気持ちになりました。他校の先輩方の実践が聞けたり、分からないことや悩んでいることを交流できたりしたので、とても充実した時間になりました。



朱鞠内小「ICTの活用」 5/19(木)

講師：上村 純一(市警研修センター指導員)

ICT機器を活用した学習指導や校務について、具体場面を示していただいたり、機器を実際に操作したりしながら教えていただいたことで、ICT機器の活用についての視野を広げることができました。ご指導ありがとうございました。(幌加内町立朱鞠内小学校 櫻井 基)



西神楽中「主体的に学び、考え、表現する生徒の育成」 5/13(金)

出前講座寸描

講師：久保田電平(市警研修センター)

主体的に学習に取り組む態度について粘り強さや調整力を見取る大切さを分かりやすく示していただきました。また、実践例を通して紹介いただいた単元全体をデザインするすることは今後の授業計画に生かしていきたいと思っています。(旭川市立西神楽中学校 山本 浩輝)



江丹別小中「道徳科指導」 5/31(火)

講師：山本 浩貴(近文小 教頭)

道徳科の授業づくりの視点を分かちやすく教えていただき、困り感が緩和しました。特に、国語科との違いや自我関与という方法は大変勉強になりました。今後の授業改善に生かしたいと思います。ご指導ありがとうございました。(旭川市立江丹別小中学校 山田 夕佳)



宇文小「特別支援教育」 5/19(木)

講師：後藤 博美(忠和小 教諭)

講義の中で、特別な支援を要する子の指導、支援について教えていただきました。また、児童の実態から支援方法を考え、ユニバーサルデザインへの変換をすることで、誰にでも分かりやすい授業づくりについて考えることができました。(中富良野町立宇文小学校 武田 昂幸)



台場小「水彩画・木版画の実技指導」 6/9 (木)



【講師：佐藤 賢一（陵雲小 教諭）】
講師の先生の「感性を働かせながら」という言葉が心に残りました。大人の型にはめず、児童が生活の中で出会った色や形、培った能力を生かしながら作品づくりができるように実践していきます。ご指導ありがとうございました。（旭川市立台場小学校 鈴木恵太郎）

旭中小「ICTの活用」 6/8 (水)



【講師：上村 純一（上川教育センターICT指導）】
Google classroomでの情報管理や共有、ミライシードでの成績管理、ロイロノートでの交流の仕方など多様な活用方法を教えていただきありがとうございました。今後の業務・授業改善に活かしたいと思えます。ご指導ありがとうございました。（中富良野町立旭中小学校 小林 史明）

旭川第1小「ICTの活用」 6/23 (木)



【講師：吉野 法行（東川中 教諭）】
この度は、授業ですぐ活用できるソフトのノウハウについてご講義いただきました。教えていただき、いかにソフトを使い切れていなかったかを痛感するとともに翌日からすぐに活用させてもらいました。（旭川市立旭川第1小学校 中尾 哲也）

新富小「キャリア教育」 6/14 (火)



【講師：高橋 明子（上川教育局指導主事）】
キャリア教育の役割や指導方法等を理解することができ、大変勉強になりました。今回学んだことを活かして、子ども達が将来自立して生きられるように、指導をしていこうと思います。お忙しい中本当にありがとうございました。（旭川市立新富小学校 三浦 魁人）

北鎮小「ICTの活用」 7/15 (金)



【講師：石本 周司（末広北小 教諭）】
教師としてもつべきスキルから授業への活用の仕方まで実践例を通して紹介いただき、ICT活用を感じていた困り感が和らぎました。学んだことを生かして子ども達に還元していきたいと思えます。御指導ありがとうございました。（旭川市立北鎮小学校 正田瑛梨香）

近文第1小「ICTの活用」 6/27 (月)



【講師：石本 周司（末広北小 教諭）】
明日からの授業にすぐ使えるような実践ばかりで、勉強になりました。ICTの活用と聞くと、身構えてしまいましたが、「気になる実践を一つやってみるところから」という石本先生の言葉に勇気が出ました。御指導ありがとうございました。（旭川市立近文第1小学校 藤野千佳子）

青雲小「ICTの活用」 8/18 (木)



【講師：森 走平（神楽小 教諭）】
効果的な端末活用に向け「オクリンク」の使用について、実際に端末を操作しながらご指導いただき、指導面を思い浮かべ、学ぶことができました。また、紹介していただいた多様な実践例も今後の授業改善に生かしたいと思えます。（旭川市立青雲小学校 中島 勝昭）

宇園別小「ICTの活用」 7/20 (水)



【講師：上村 純一（上川教育センターICT指導）】
講義の内容は、全て明日からの実践に生かすことができるものでした。クラウドのおさえ、チームズの使い方、ロイロノートの体験などを分かりやすくご指導いただきました。指導法の改善を図っていきます。ありがとうございました。（当麻町立宇園別小学校 坂田 智美）

心に残る授業

その86

上川教育局
玉置 ゆり子

上川教育局では、GIGAスクール構想による一人一台端末の効果的な活用を進める「プロジェクトIPO」に取り組んでいます。事業スタートから一年経過した現在、上川管内では、各学校の努力により、初任段階から再任用まで本当に多くの先生方がICTを活用され、しかも、目標、ねらいに沿った端末活用の授業が見られ、まさに百人の一步が実現されようとしています。そのような中、私が参観した心に残る授業は、小学校第五学年の社会科の授業です。

子どもたちは、現代の自動車製造に求められているものを探るため、最新の自動車に搭載されている機能について情報を集めていました。タブレット端末や自動車のカタログ、新聞、図鑑など、それぞれが調べやすい方法を選択しており、安全性に関する機能について調べる子どもや身体に障がいがある人でも運転ができる機能について調べる子ども、音楽が好きでオーディオ

機能について調べる子どもと、それぞれが自分の興味や関心に基づき、生き生きと学習に取り組んでいました。少し時間が経つと、子ども同士が資料を交換したり、頭を寄せてタブレット端末を見せ合いながら、共同で学習をしたりする姿も見られました。

その後、得た情報はデジタルホワイトボードを使ってグループで共有され、自然にカテゴリー分けがされてきました。「これからはエコじゃないと売れないよ。」「どのような人でも運転しやすい自動車がよいよね。」といった子どものつぶやきが聞かれ、「持続可能」「ユニバーサルデザイン」などの現代の自動車製造で求められているニーズに気付くことができた授業でした。対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し、新しい解や納得解を生み出す子どもたちの姿が見られた素晴らしい授業でした。

これからも、管内の多くの先生方の授業から、未来の社会を見据えた課題に対して、子どもたちが主体的な学習に向かう姿や手立ての工夫を探ってみたいと思います。



ICT実技研修講座レポート

当センターのICT実技研修講座では、授業や校務での効果的なICT機器の活用を目的とした七講座（各講座二回ずつ、計十四回実施 全講座半日日程で実施）を開講しています。今年度は、各講座ともたくさんの方の先生方に受講いただいています。

開設する七講座は、エクセルに関する三講座、タブレットPCに関する三講座、プログラミング教育に関する一講座を開講しています。

エクセルに関する講座は、「初級編」「中級編」「クラウド活用編」の三講座を開講しています。「初級編」「中級編」では、初歩的な数式や関数の使い方から、Vlookup 関数等の応用的な使い方、簡単な会計簿の作成等について、「クラウド活用編」では、アンケート等で広く使われることになったFormsによるアンケートの作成から、集めたデータをエクセルやスプレッドシートで集計、分析等の内容となっています。

プログラミング教育に関する講座では、小学校プログラミング教育について、目的やプログラミング的思考等の理論研修から、Scratchでのプログラミング、micro:bitの操作等、授業で活用できる内容となっています。

タブレットPCに関する講座は、「入門編」「授業活用編」「校務活用編」の三講座を開講しています。「入門編」では、基本的な操作方法やアプリの特徴、Zoomを使ったリモート会議の参加や開設等の内容、「授業活用編」では、授業における活用方法についての内容となっており、とても人気の高い講座となっています。また、「校務活用編」では、タブレットPCやクラウドを活用した校務の効率化の内容となっています。タブレットPCの有効活用が期待されており、是非御活用ください。

当センターでの講座とは別に、出前講座でもICTをテーマにした講座を実施しました。次年度も是非御活用ください。



上川教育研修センター第19次研究1年次

「求められる資質・能力を育む学習指導の在り方」 ～指導と評価の一体化を目指す学習評価～

研究主題の解明に向け、上川教育研修センター研究員が研究授業を行いました。

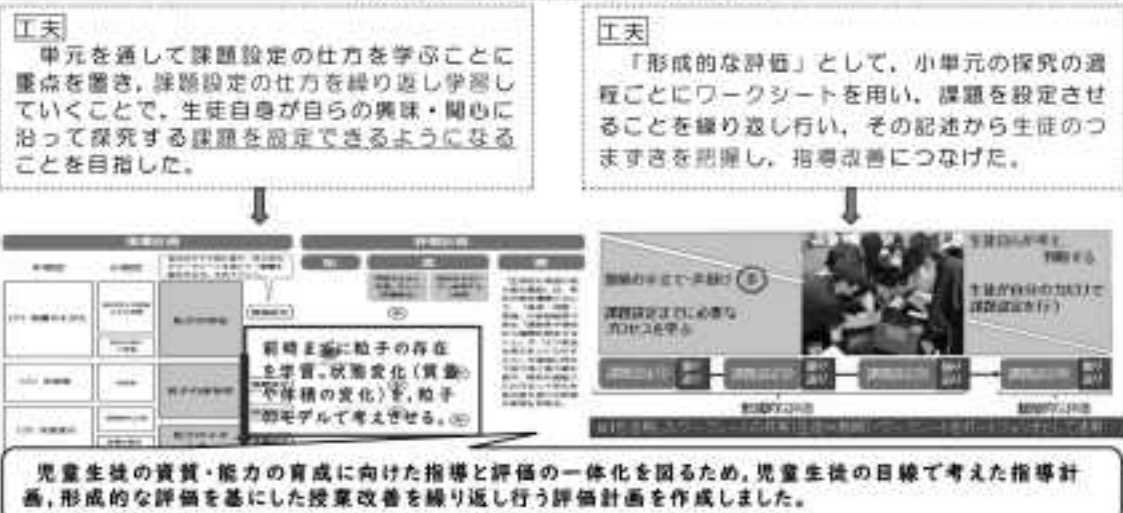
研究員2年目 旭川市立中央中学校 三上 貴也

第1学年理科「身のまわりの物質」 ※当センター初、研究授業のオンラインライブ配信を実施

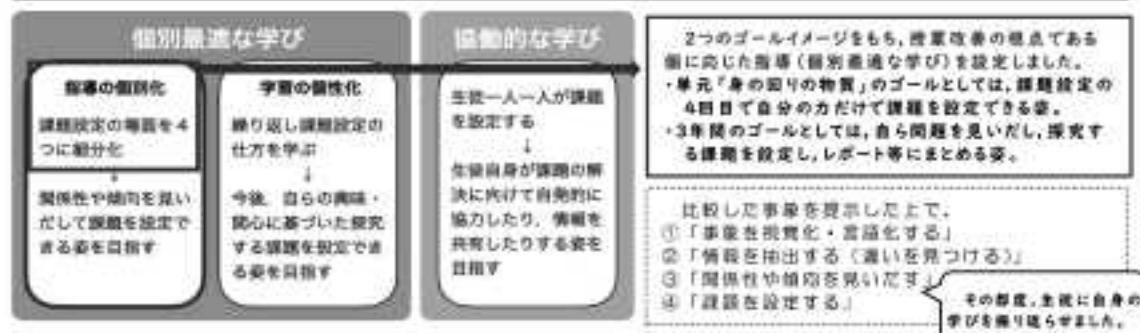
研究内容(1) 目標と評価の一体化について



研究内容(2) 指導計画、評価計画



研究内容(3) 個別最適な学び、協働的な学び



6月21日に行われました、研究員の三上貴也教諭による、理科の研究授業の様子です。



上川教育研修センター

教育講演会

と き

令和5年1月11日(水) 14:15～16:15

(開場: 13:45 講演開始: 14:15)

ところ

Zoom オンライン開催

配信: 上川教育研修センター

演 題

「資質・能力を育成する
授業づくりと学習評価」

講 師

大妻女子大学家政学部児童学科 教授
前: 文部科学省国立教育政策研究所
学力調査官 兼 教育課程調査官

樺 山 敏 郎 氏



【講師紹介】

公立小学校教諭、教頭、教育委員会指導主事を歴任後、2006年4月より9年間、文部科学省国立教育政策研究所学力調査官兼教育課程調査官として小学校国語を担当、2015年4月より現職

主な著書

- ・ 明治図書 資質・能力を育成する小学校国語科授業づくりと学習評価 (編著)
- ・ 明治図書 深い学び・対話的な学び・主体的な学びの過程を重視した小学校国語科アクティブ・ラーニング型授業スタートブック (編著)
- ・ ぎょうせい 小学校教育課程実践講座 (編著)

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

* 申込方法: 開催要項のP26「一般研修講座 受講申込書」や講座情報に受講者名を記入し、FAXでお申し込みください。

i P a d 無料貸出しの御案内

上川教育研修センターには、10台のi P a dがあります。また、研修センターは館内無線LAN環境が整っており、無料で数十台のP C等が接続できるアクセスポイントを設置しております。

当センターを利用した各種講座や各研究団体研修会等において、タブレットP Cを用いた内容で実施してみたいかでしょうか。積極的に御活用ください。

また、各学校や各種研究大会などに無料でi P a dを貸出いたします。校内研修での利用や研究授業などに御利用いただければと思います。なお、I C T実技研修講座での利用予定がある場合や、出前講座、一般講座等での活用予定がある場合は貸出しできませんので、御了承ください。

※貸出しにつきましては、事前に電話にて御連絡ください。

※破損や紛失の場合は弁済していただくことになります。

各種資料の御活用を！

当研修センターの1階には、各種教育雑誌を、3階には、道内はもちろん全国各地の教育関係広報紙や研究紀要、教育雑誌のバックナンバーなどを保管しています。蔵書資料は貸出しも行っていますので、ぜひ御活用ください。なお、所蔵資料リストは当センターWebサイトからも御覧いただけます。



【上川教育研修センター Web サイト紹介&受講後調査のお願い】

<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

当研修センターでは、研修内容を勤務先において活用していただくことを願い、一定期間においてアンケート調査（受講後調査）をお願いしています。アンケート結果は、講座の成果を推し測るための貴重な資料として活用しております。趣旨を御理解の上、御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、受講後調査の御回答に当たっては、当研修センターWebサイト上で入力してください。

※この用紙は再生紙（古紙70%）を使用しています。

発行日	令和四年十一月一日
発行	上川教育研修センター
〒	〒070-0036
旭川市	旭川市六条通四丁目
電話	電話（0166）241-2501
伊東義晃	
東信印刷株式会社	
印刷所	
責任者	



↑QRコードを読み取ると、アンケート入力ページに移動します。